

備蓄米、あす販売

富山県地盤のスーパー、大阪屋ショップ(富山市)は、政府備蓄米の店頭販売を14日から関店(関市)で始める。2022年産を5千2139円で先行販売する。7日に岐阜県内2店舗で先行販売したバローも、14日に岐阜市内を中心に県内8店舗で販売する。

大阪屋ショップは先行販売を富山市と金沢市の県外各1店舗でも行つ。関店は100袋を用意する。当日は整理券を開店の30分前に配布し、1家族につき1点限りの販売とする。各務原店など別の店舗でも準備が整い次第販売する。

バローが14日に販売する店舗は、芥見店、茜部南店、市橋店、領下店(以上岐阜市)、大垣市の大垣南店、瑞穂市の穂積店、羽島市の羽島インター店、不破郡垂井町の垂井店と名古屋市の千音寺店。先行販売した後は愛知県や静岡県、関西地方の店舗で販売しており、岐阜県内は1週間ぶりとなる。

大阪屋関店、バロー県内8店舗